


ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

先月のネイチャーウォーク

店知人 ～ 松原団地から越谷レイクタウン～



(東武伊勢崎線 松原団地駅～
JR 武蔵野線 越谷レイクタウン駅)

秋晴れの中、絶好の歩き日和になった今回のネイチャーウォーク。今回は、草加、越谷と歩きます。はたして、どのような部会になったのでしょうか？

今回はスペシャルゲスト、当協会の南埼玉支部支部長の加納さんが、草加市を案内してくださいました。



これがキタミソウです。

絶滅危惧種のキタミソウの話には、みなさんも熱心に聞き入っていました。





そうか公園の池には、様々な水鳥
がいました。



ホシゴイです。

お弁当はそうか公園で。

そうか公園では、カモ類やホシゴイなどを見ることができました。



お弁当の後は、恒例の認定式。今月は2名の方に認定証が授与されました。



80回にわたってネイチャーウォークに参加されたことを記念して、アップルを表現した切り絵が贈呈されました。

認定式を終えたら、ゴールに向けて出発です。

柿木田んぼをゴールの越谷レイクタウンまで歩きます。



レイクタウン周辺の保全の重要性について、当協会の池田さんが紹介してくださいました。

レイクタウン脇の調整池で一端解散し、希望者のみで、調整池にあるビオトープの観察に向かいました。

調整池のビオトープでは、カワセミ、ユリカモメ、ハマシギ、オオバンなど、たくさんの野鳥を見ることができ、みなさん、大満足の様子でした。

しかし、池田さんによると、調整池に作られたビオトープは小さくて、不十分なものであるとのことでした。

貴重な自然を、いつまでも大切に残していきたいですね。



ハマシギのつがい。とっても愛らしい姿です。



カワセミとユリカモメのツーショット。

今回は、ビオトープでの観察を含めると、10kmを超えるととても長いコースでした。みなさん、お疲れ様でした。

ネイチャーウォークではこれからも楽しい企画で、みなさんのご参加をお待ちしております。今後ともよろしくお願ひします。